



森のなかま

2014年10月号
NO. 78 (継続223号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>
〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館 TEL 046-280-4101・FAX 046-280-4102

発行人 久保 重明



かなりんちゃん

『やどりき水源林のつどい』が盛大に開催！！

8月16日(土) (8/15 準備)



しずくちゃん

< 副理事長 森本 正信 >

平成26年8月16日(土)、やどりき水源林(松田町・寄)において、標記のイベントが 来場者約500名(スタッフ約100名)という史上最大規模で開催されましたのでご報告します。

今年で13回目となるこの集いは、森林再生パートナーや定着型ボランティア団体の取り組みを、広く県民に発信するとともに、県が取り組んでいる水源の森林づくり事業や水源環境保全再生の諸施策への理解と協力を、県民に訴求するためのものです。

私ども、かながわ森林インストラクターの会も、この実行委員会のメンバーで、当日は、63名の会員が、「おもてなし」を合言葉に、午前中のトレッキング、水生生物観察、森林癒し体験や、午後からの式典、森林交流会の運営など、アテンドに努めました。

500名の規模ということで、トレッキング待ち時間でのロケットラワン接待の本格化や、丸太切り・クラフトコーナーの朝からの受付など平準化にも知恵を絞らせてもらいました。また、昨年に引き続き、神奈川新聞にも紙面で大きく採りあげて頂きました。来年も、大勢様のご来場を 心からお待ち致しております。



恒例配布の団扇

主催 県民との協働による森林づくり実行委員会

(公財)かながわトラストみどり財団、神奈川県、川崎市、神奈川県森林組合連合会、神奈川県木材業協同組合連合会、神奈川県山林種苗協同組合、神奈川県森林協会、連合神奈川、湘南リビング新聞社、神奈川新聞社、南足柄緑の少年団、箱根みどりの少年団、NPO かながわ森林インストラクターの会

共催 松田町

協賛 神奈川県内広域水道企業団



かながわ産
足柄茶とブレンド水

準備前のミーティング
役割分担確認

河原への安全な降り場所の
確保・整備

長椅子の組み立て

森林癒し場所の清掃

前日の準備



受付付け(新松田駅近く) ⇒ バス ⇒ 会場へ (第一陣 9:30~10:00 ……)

新松田駅近くの
バス乗り場で受付

車中で森林インストラクター
からコースなどの説明

やどりき大橋傍でバスを降りて、
清流と森林のパワーを感じながら会場



トレッキング等のコース (10:00 …… ~12:00)

・林道コース ・周遊道Bコース ・成長の森コース(平成19年の一部) ・森林癒し ・水生生物観察

トレッキングコース分け



冷気を感じながら林道コースを歩く



周遊道Bコースへ



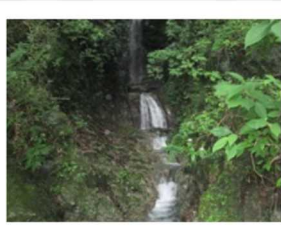
成長の森(平成19年)
7年経ちました



森林癒し



①イオンに癒されます。(滝郷の滝)



水生生物観察



魚のカジカもいたよ!

かながわ代表のゆるキャラ登場
かなりんちゃん と しずくちゃん



開催あいさつ 昼食 森のコンサート (12:00~13:00)

朝から立ちっぱなしの
司会のお二方



草笛名人



実行委員長御挨拶と来賓・主催者・共催代表のみなさま



三ヶ村子供祭囃子保存会



昼 食



人気の鯛焼きと鹿シチュー



森林交流会等 (~14:00)

定着型ボランティア団体の
活動紹介パネル



スイカ割 お見事ヒット
その後皆さんのお口に



水源林パートナーPRブース



結構なお点前です



木の輪切り(疑似間伐体験)



切った木を台座にどんぐりクラフト



森林インストラクターが
製作した“グッズ”の販売



ヒノキのチップもいい香り



(写真・記録 ソース(源) 主に伊藤恭造氏 7期)

『 持続可能な森林・林業への道 (2 of 2) 』

<神奈川県チーフ森林インストラクター 飯村 武>

(9月号よりの続き)

前段ではまず、「山林に入て材木を検す」に意表を突かれる。挽材からする原木の有り様を人の素性・性質に譬(たと)

え、木材の合理的利用法を切々と説く。土台、柱、梁、——の配置の、いわゆる適材適所が出来て始めて棟梁の器。この落し所は扱措(さてお)き「残すことなし」の言葉が執拗に残った。間伐材の林内放置の現状が論されているような気になったし、「廃棄、焼却など木材の浪費は目に余る」(来るべき木材時代、1953)と指摘したエゴン・グレンシンガー氏の顔が鮮烈に蘇(よみがえ)ってきたのだ。

後段では「苗を多く」に惹き付けられる。1960年代、私有林における林業技術普及項目の一つに「密植造林」(数百本植え/10アール)があった。生長の促進はもとより、下草の抑制効果、より良い木を選択し得るなどの利点が評価され、集約を旨とする農林家の技術として受け入れられ、広まった。

次いで「抜伐」。目標は山中すべて良材の作出にあるが、これは現代林学における「優勢木間伐」に通ずる技法(尊徳の森、佐々井典比古、1998)という。また、今需要の面からする「心持柱材(しんもちばしらざい)採取の立木(胸高直径18~20cm)間伐法」なども思い浮かんでくる。

続く「且(かつ)」以下ではまず、「手遅れに——、後(おく)るれば」の念押し。輸入材に押され、除伐・間伐の手遅れで健全性が失われがちな我が国の人工林。大雨・土砂災害などに戦くその現状が脳裏を掠(かす)め、身が縮む思いだが、健全性維持のためには手抜きは否(いな)、と手厳しい。

参考写真
二宮翁夜話本 第十三版



しかし、最後は誰でも読める字を並べ、「又抜き去るべし」と結ぶ。歯切れのよい結びだが、しかし決して「終り」ではなく、その先には蒼々(そうそう)たる大木が林立しており、伐った跡には密植を、の鋤音(くわおと)が伝わってくる。それは「百年の計で択伐・長伐期施業を貫き、森林収穫は持続可能で」と読み解けた。

森林の長伐期施業、それは諸外国を含む木材の産地間競争・需要の弾力的対応、高級品(銘木)生産などの実利を担うと共に、水源涵養(すいげんかんよう)等の公益的機能を併せもつ。換言すれば長伐期施業は持続可能な森林経営の技術の一つとして位置づけられ、その先には複層林の作出、生物多様性の空間などが見えてくる。

世はいま、あげて持続可能な社会の構築が問われている。ところで、森林・林業に託した翁(金次郎・尊徳)のこの教育手法は、いま森林環境教育として教育現場で花開いており、また、持続可能をベースとする森林・林業への転換においては、その舵取りの指針ともなっている。

卓見(たくけん)に唯々(ただ々)、唸(うな)るのみ。

(完)



二宮 尊徳 回村の像
(小田原尊徳記念館 庭)
(撮影 9.5. 広報 松本)



かながわ森インストラクターの会は
支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初委嘱されています。

森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

第4回 植物を特徴づける鍵物質—抽出成分
香りの図書館 館長 谷田貝 光克 氏

含有量の多い主要三大成分が木材の細胞壁を作り木のしっかりとした構造を作っているのに対して含有量が少なく細胞内などに含まれているのが、抽出成分、デンプン、無機質、タンパク質などです。それぞれに植物体内での働きをもっていますが、特に抽出成分は多様な働きを持っています。その働きについてご紹介しましょう。

抽出成分はその字からもわかるように「引き出された成分」です。植物、動物、微生物なども含めて天然のものからヘキサン、ベンゼン、エーテル、エタノールなどの有機溶媒、あるいは水によって抽出されるものが抽出成分です。木材チップからパルプを作るのに酸やアルカリで煮て高分子のリグニンを分解して溶かし出しますが、このように分解して出てきたものは抽出成分とは普通言いません。酸やアルカリで処理しても化合物に変化を伴わず抽出されるものは抽出成分の範疇に入ります。

梅の実をホワイトリカーに漬けておくとしだいに黄色の色が濃くなり梅酒となりますが、この黄色の物質が梅から溶けだした抽出成分です。古くから伝わる生薬には葉や根を煎じて飲むものがありますが、煎じ薬こそが抽出成分です。

ウメからの抽出成分
がとけ込んだ梅酒

抽出成分を取り出すには溶媒に浸漬して室温に置くか、加温する方法があります。果実酒の場合が前者で、煎じ薬の場合が後者になります。加温の方法には植物体をお湯で煮るほかに、水蒸気を植物体にあてて揮発性のものを取り出す水蒸気



蒸留法やコーヒー豆からコーヒーを取り出すときのようにサイフォンの原理を使ったソックスレー抽出法など、いく

つかの方法があります。

セルロースなどの細胞壁を作っている成分の分子量が数万以上の高分子であるのに対して抽出成分は分子量が大きくても1000程度の低分子です。低分子なので溶媒に溶けだすのです。高分子であるセルロースなどは酸やアルカリで分解しない限り溶媒には溶けません。

抽出成分

植物あるいは動物などから溶媒で抽出される成分
例

- ・テルペン類 α-ピネン、カンファー、アビエチン酸、スクワレン
- ・アルカロイド カフェイン、キニーネ、モルフィン、ベルベリン
- ・フラボン類 ケルセチン、タキシホリン、ケンペロール
- ・タンニン 没食子酸、エラグ酸、タンニン酸
- ・ステロイド コルステロール、テストステロン
- ・炭化水素
- ・脂肪酸 バルミチン酸、オレイン酸
- ・キノン類 ユグロン、ダルベルギオン
- ・エステル類 リナリルアセテート、ベンジルアセテート

など

におい成分:抽出成分のうちの揮発性成分(=低分子成分)

抽出成分にはテルペン、アルカロイド、ポリフェノール、脂肪酸、炭化水素、サポニンなどの種類があります。これらの成分はにおいであったり、色であったり、中には害虫を追い払ったりする働きのあるものもあります。そして植物の種類によって含まれるものも違ってきます。例えばにおいや色のある抽出成分にもいくつかの種類があり植物によって含む成分も違ってきます。それで植物によってにおいが違い、花の色が違ったりするのです。植物には病原菌や害虫に侵されやすいものや強いものがありますが、これも含まれる成分によるものです。もしも植物に抽出成分が無かったら植物ににおいがなく、色がなく、害虫や病原菌にも同じように侵されやすくなり、地球上の植物がみな同じになってしまいます。あるいは抽出成分があったとしてもみな同じ成分を含んでいたとしたら、バラもクチナシも同じにおいで、ヒノキもシラカバもみな同じ木肌になってしまい変化の無い味気ない世界になってしまいますね。含まれる抽出成分が異なるのでそれぞれの植物の特徴が現れているのです。抽出成分こそが個々の植物を特徴づける鍵物質なのです。

◎ (写真 谷田貝氏 提供)

◎ (イラスト) 広報 大塚 晴子

活動短信



今回の掲載は
7月19日～8月9日です。
寄稿頂いた中には、紙面都合
や寄稿タイミングで次号以降
の掲載になるものもあります。
予めご了承下さい。

◆ 県民参加の森林づくり (下草刈り)

日 7月19日(土)8:30～13:30、曇り時々雨

場 南足柄市塚原(塚原水源林)

参 51名

財 豊丸様、鳥海様 看 小林様

イ L 西出⑫、友谷①、有坂⑧、鈴木③、柏倉④、
宮本⑥、小野⑦、鈴木⑨、山崎⑫、藤代⑬、松石⑬

研 藺田⑬、小川⑬、北村⑬

小田急線開成駅前での参加者の受付け中から、空は
厚いどんよりとした雲に覆われて、時折ポツリ、ポツリと感
じる様な梅雨空の下でしたが、予定通りにバスで現地に
向かい出発しました。

9:10 現地着。財団鳥海さんの全体説明と、西出リーダ
ーからスケジュール、作業内容、注意事項等の説明があ
り、インストラクター紹介、ストレッチ体操と所定の準備を
行ったあと、道具を配布して準備完了。

9:40 作業場所に向かって出発。樹高3m前後のヒノキ
林(樹齢8年)の中に、人の背丈を超えるほどのカヤ、ク
サギなどの低木類、クズやヤブガラシ等のツル類がびっ
しりと生い茂る急斜面が今日の作業場である。

さっそく作業が開始され、時折ぱらつく小雨と草木に付
いた水滴でみなさん全身びしょ濡れ状態で作業が進め
られました。

11:10 天候があまり良くない中で、参加者もやや少な
かったにも拘らず皆さんの勢力的な行動で、予定より早く
作業を終わることができました。

12:00～13:00 バスのなかで、各班ごとに昼食をとり、
ミーティングを行って現地を出発。ハットヒヤリ1件(蜂刺
され1名)以外は、負傷などは無く終了しました。

13:30 開成駅で解散。皆さんお疲れ様でした。

(記 松石 藤夫 13期)

◆ 小田原市森林組合の「夏だ！昆虫採集！！」

日 7月25日(金)9:00～11:45、晴れ

場 小田原いこいの森

参 33名(10家族 大人15名 子供18名)

主催 小田原市森林組合

スタッフ 小田原市森林組合 村山様

イ L 高橋③、大塚⑪、赤崎⑫、佐藤⑬

本番前の7/19(土)に森林組合の村山様とインストラ
クター4名で打合せとコースの下見を行った。

当日は、父母、祖父母の同伴者(15名)とこども(18名)
が、それぞれ虫取りアミや虫カゴを持って小田原いこい
の森に集まった。

昆虫採集の前にスズメバチ、熱中症、服装等の注意を
説明し、4班に分かれてコースを移動した。

途中、木材チップの堆積場でカブトムシの幼虫採集、ホ
ダ木のクワガタムシ採集、クヌギの広場では、樹木や根
元周辺でカブトムシやノコギリクワガタ、コクワガタ、コガ
ネムシ、オサムシなどが採集できた。

コースの途中々で、樹木や草花など植物の説明も行
い自然に親しんだ。参加者の年齢層が広いと、この時
期を考えると半日工程の企画は適切であった。

コースの下見や、カブトムシとシクワガタムシの事前採集、
トラップ(罠)の設置などの事前準備が巧を奏して、大人
も子供も参加者全員が昆虫採集と自然に親しみ、怪我も
無く楽しい半日を過ごし解散した。

(記 佐藤 正之 13期)

◆ 神奈川県水道記念館(水源林保全体験)

日 7月25日(金)10:20～14:30、晴れ

場 県立21世紀の森

参 27名(子供11名、大人16名)、

スタッフ 職員5人(責任者;勢登様ほか4名) 看 小林様

イ L 山崎⑦、齋藤⑥、伊藤⑦、小川⑬

各班ごとにヘルメット等、竹林除伐作業に必要な装備
をつけ目的地の竹林に向かった。

親子連れが多く鋸を使うのは初めてのようであった。
安全に注意をすることと猛暑の中での作業なので水分補
給を十分取るように伝えた。無理のないよう作業をするこ
とも伝えて作業に入った。

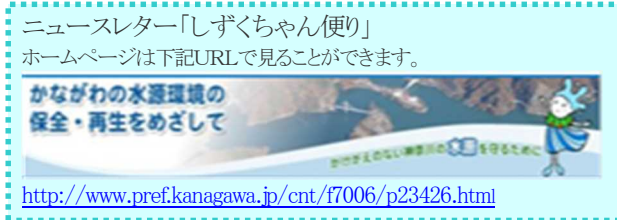
新しい竹は柔らかく切りやすいので子供たちはすぐに
鋸を上手に使い、気持ちのいい汗を流していた。遠くに
ホトギスの鳴き声を聞きながら森の静けさに浸っている
のが印象的であった。

午後からは、クラフト工作で檜の間伐材を使いマイハ
シ作成にとりかかった。初めて使う鉋を不器用に使いな
がらも少しずつ形になっていった。世界に一つしかない

「マイハシ」が出来上がった時には満足さに笑顔がこぼれていた。

夏休みの一日、親子と一緒に色々な体験が出来る幸せを感じているようであった。

(記 小川 和恵 13期)



◆ 日揮株式会社 パートナー林活動 (水棲生物の観察とクラフト)

日 7月26日(日)9:30~14:30、晴れ時々曇り

場 やどりき水源林 後沢

参 日揮(株)様 4家族13名(大人8名 子供5名)＋
スタッフ 1名 計14名

イ L 山崎⑦、高橋③

此の日は、同じ場所で日立システムズさんも同じ内容のイベントを行う為、午前中の“水棲昆虫の採集と観察”は、少し上流の“後沢で行った。山崎 L のこの判断は大正解で、下記の如く種、数共に多くの成果があり参加者全員が大いに喜びあい、観察の後は感謝をして逃がしてやった。採集できたものは、カワゲラ、カゲロウ、トビゲラ、カガンボ、ヘビトンボ等の幼虫やサナエトンボのヤゴ、サワガニ、カジカ、カジカガエルのオタマジャクシ等の優れた水環境を証明する生き物ばかりで、我々インストラクターも説明に力が入った。直近の数日は夕立や降雨も無く、川の水位は低く、水も透明で、幼児達も安心して川に入り、怪我や事故も無く、楽しく滞なく予定の行事を終えた。

午後の工作は、予定していた広場のテントが先客の都合で使えず、止むを得ず窮屈な集会棟で行った。作品は全て山崎 L が用意した不思議な棒、無患子(むくろじ)のストラップ、マテバシイのウグイス笛など小品ながら完成度の高いものである。参加者親子はインストラクターの指導の下、和やかに工作を楽しんだ。三品種全部を完成した家族もあったが、予定の時間内に全品完成できずに材料を持ち帰る家族もあった。怪我や事故も無く終了できた。

(記 高橋 恒通 3期)

◆ 株式会社日立システムズ

水生生物の生態観察と木工クラフト

日 7月26日(土)8:30~14:30、晴れ時々曇り

場 やどりき水源林

参 85名(大人47名 子供38名)

イ L 森本⑤、米本②、高崎④、齋藤⑥、伊藤⑦、
谷川⑪、平田⑫

今年一番の暑さとなったやどりき水源林。早速、日除け用の大型テント2張を設営。水生生物観察は、水生ビュンゴに掲載した全種類の生き物が確認でき大満足。

木工クラフトは、どんぐりクラフト、ウグイス笛・草笛とロケットランをワークショップ形式で提供、コマ廻し・けん玉も開設して楽しんでいた。

今後とも、クラフトの新規メニューの開拓など、ご要望にお応えしていきたい。

(記 森本 正信 5期)

◆ 神奈川県法人連合会 下草刈り活動

日 7月26日(土)10:30~12:00、晴れ

場 秦野市寺山ヤビツ峠「法人会の森」

参 各法人会、他 309名(大人)

スタッフ 一般社団法人 神奈川県法人会連合会

事務局長 金森様、事務局主任 平山様、
事務局職員 石川(律)様、石川(竜)様、石渡様、安形様

県 増田様 青木様

イ L 有坂⑧、竹島③、永野⑥、白畑⑦、黒澤⑧、齋藤⑧、
内野⑨、篠原⑨、水口⑨、村井⑨、小沢⑨、後藤⑩、
福島⑪、中村⑪、澤村⑫、大原⑬、焼尾⑬、長尾⑬

ヤビツ峠のすぐ近くにある「法人会の森」での活動には、神奈川県法人会連合会と各法人会などから330名余りの方々が参加され、大変盛大な催しとなった。

折しも熱中症注意報が出されるほどの記録的な猛暑の中、主催者挨拶や下刈り作業の事前説明のあと、班ごとに本日の持ち場へと斜面を登っていきました。

現場に着くと、下で見ていた感じよりも勾配もきつく、足元も決して良い状態ではなかったが、みなさん一生懸命に大鎌を振り、下草刈りに熱中していました。植栽木は木陰が出来るまで大きく育っているものと、下草に隠れてしまう苗木が混在していて、草刈り作業は苗木を傷つけないように注意して進められた。作業は1時間程度で終了となりましたが、下の広場に集合して斜面見返すと、さ

すがに多く的人数で作業した甲斐があって、見違えるほどさっぱりと刈り込まれていました。

体調を崩した方も怪我をされた方もなく、最後に参加証明書授与を行って無事に解散となりました。

(記 長尾 聖司 13期)

◆ 川崎市立末長小学校「森林講話」

日 7月27日(日)、晴れ

場 川崎市高津区末長小学校

参 生徒223名、保護者223名

イ L加藤 久雄⑫

夏休み親子工作教室の前段に「環境出前講座」として、7才から11才の小学生とその保護者の方に15分のお話をいたしました。

内容は、

1. 木について(学校周辺の木の多さと江戸時代の木や山との比較、木の用途)
2. 森の機能について イ) (水をためる、きれいな水を作る、土砂づれの防止、森は海の恋人) ロ) 地球温暖化について ハ) 生物多様性について(末長小学校の教育目標の創造との関連性をもたせた構成とした)
3. 森と災害について (東日本大震災と森の防潮堤、東大震災の陸軍本所被服廠跡と2km離れた深川岩崎別邸での避難者と生存者の関係と森のはたしたこと)のお話。

最後に、木が三本あれば森。皆さんドングリを拾って植え、育て家庭に「なんとかさん森や、なんとかくんの森」を造りましょうを訴えました。

(記 加藤 久雄 12期)

◆ かながわウッドサークル (木材利用ポイントPR)

日 8月3日(日)10:00~16:00

場 みなとみらいマークイズ・みらいチューブ

参 クラフト参加者100名

イ L森本⑤、菊地①、米本②、斉藤⑬

神奈川新聞社の出店依頼にお応えしたもので、いつものどんぐりクラフト、グッズ販売と緑の募金を展開した。商業施設の制約により二箇所に分かれたが、マークイズのイベント広場の集客力は魅力的で、用意した100個のクラフト材料も午後2時には完売となった。メイン会場であるみらいチューブでは、各種のステージイベントやしずくちゃんの着ぐるみ達も登場して 賑や

かさでいっぱい。結果、グッズ売上 15600 円、緑の募金 5796 円と好調だった。

(記 森本 正信 5期)



丹沢の自然再生に取り組む
丹沢大山自然再生委員会ホームページをご覧ください。
<http://www.tanzawasaisei.jp/>

◆ 県民参加の森林づくり (下刈り)

日 8月9日(土)8:00~14:30、曇り

場 秦野市 堀山下 (全国植樹祭地)

参 69名

財 内海課長、鳥海様 看 青木様

スタッフ 秦野市 小澤参事、道具搬送: 県森連

イ L森本⑤、愛木⑦、白畑⑦、松田⑦、鈴木⑧、海野⑩、波多野⑪、松本⑪、澤村⑫ 斉藤⑬、前田⑬

台風11号の影響が心配されたが、当日は曇り<天>で良かった。

下刈り地は、全国植樹祭植栽地という聖<地>で、秦野市との共催で開催。

この思い入れのある<人>達や学生・平塚漁協の漁師さんなど、多彩な顔ぶれで頼もしい。

テンションが高かったせいか、作業そのものは無事に終了。ただ、ハチ刺され6名8箇所、ヒル献血者数名が出たのは残念であった。緑の募金4233円に改めて感謝。

(記 森本 正信 5期)

投稿概略フォーマットと略語の説明

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付 (できれば時間と天気も)

場 場所

参 参加者

県 (神奈川県自然環境保全センター・水源の森林推進課)

財 ((公財)かながわトラストみどり財団)、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合・XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ: インストラクター (○数字: 期) 研: 研修枠
(以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

やどりき水源林 ミニガイド

9月のトピックス

早朝からランニング登山をする4人組に
会いました。(雨山往復だそうです)
(若い、うらやましい)



(9/13 6時55分頃 撮影 松本)

10月の水源林

少し訪れ始めた秋の気配ですが、
まだチョウチョもトンボいます。川遊
びもまだできます。

「森の案内人」情報

- 実施時間: 毎週土曜・日曜・
AM10時・PM1時、1～2時間程度
- 集 合: 水源林入口ゲート前
- 内 容: 森林インストラクターが自然
観察にご案内します。森林のしくみ
手入れなどについて説明致します。
参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記ま
でご連絡ください。
- 問合せ: (公財)かながわトラス
ミどり財団 TEL: 045-412-2255
FAX: 045-412-2300
- ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>
- E-mail: midori@ktm.or.jp
- やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場
線松田駅下車、富士急湘南バス「寄
(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス
下車後(案内板あり)川沿いに徒歩
35～40 分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

予告 新企画 **やどりきの森へいこう** 11月29日(土)

【もうすぐ冬！紅葉&動物の痕跡探し】

今から友達、知り合いにお誘い、お声をおかけ下さい。

申込締切り・・・11.13(木)

NPO 法人かながわインストラクターの会

〒243-0014 厚木市旭町 1-8-14 グリーン会館 5F

E-mail: k-inst098@friend.ocn.ne.jp 参加者全員の名前、住所、TEL番号を記入の上、
往復ハガキ又は E-mail にて



HPでは過去号もご覧いただけます。

<http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>

(HP 担当: 井出恒夫)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・購読の皆様からの原稿を募集して
います。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamo@jcom.home.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

〒221-0865

横浜市神奈川区片倉 2-1-50

Tel: 090-6150-6173

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037

横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamo@jcom.home.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871

小田原市下堀 123

Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【CC】竹島 明

〒238-0045

横須賀市東逸見町 3-7

Tel/Fax: 046-825-9281

Mail: 2nahemi0818@kce.biglobe.ne.jp

原稿は随時受け付けています。

編集後記

★今日の事なんですが、娘を保育園
に送っていったら、私のお弁当も預け
てしまいました。楽しみにしていた豚カ
ツガー (泣)

(赤崎)

★我が家の月下美人が夜の7時過ぎ
から開き始め9時ごろには見事に大輪
の花を咲かせました。部屋いっぱいの
芳香を放ち、今年も有難うという気持ち
になりました。

(小川)

★いつの間にか、肌寒くなり、ヒガンバ
ナを見かけると、もう秋なんだ！とやっ
と実感として気がついた、今年の秋到
来でした。

(水口)

★9/7(日)のTVで大磯照ヶ崎に飛来
するアオバトの様子が放映されていま
した。我が会の自然観察部会が探鳥会
を行った所です。本誌8月号3頁に写
真入りでバッチリ掲載されています。

(松本)

◇ 年間購読のお申し込み

「森のなかま」年間購読をご希望の方
は、郵便局備付けの郵便振替を利用
してお申し込み下さい。
郵便振替口座 00230-0-2454
かながわ森林インストラクターの会宛ま
で購読料年2000円をお振込み下さ
い。振替用紙には、必ず、住所、氏
名を明記して下さい。
振替用紙到着の翌月号から12回/
1年間お届け致します。
(頒 価 200円 送料共)

編集人: 松本 保

事務局: 竹島 明

広報部: 小沢章男 水口俊則

鈴木 朗 徳岡達郎 大塚靖子

加藤暖子 赤崎さほり 小川和恵

小池 哉

支援

伊藤恭造 川森健司

松田付近のイベント情報!!



松田山ハーブガーデンでは年に2回
(春と秋)ハーブフェスティバルを開催
しています。秋(10月)開催のハーブフ
ェスティバルは「セージまつり」とも呼ば
れ、肉料理やお茶などに使われるセ
ージが見頃を迎えます。

散策、ボランティア活動の
お帰りにお越しください!!

～ お 食 事 処 ～

(もちろん飲み物も!!)

こ ま ち

山 麓 の オ ア シ ス ③③

小田急 新松田駅
踏み切り際

緑の募金箱協力店